



**SymBio Pharmaceuticals**  
San-ei Building 8fl., 5-23-7 Shimbashi  
Minato-ku, Tokyo 105-0004, Japan  
Tel:(813)5472-1125 Fax:(813)5472-3051

各 位

2005年12月22日  
シンバイオ製薬株式会社  
代表取締役社長 吉田文紀

シンバイオ製薬が開発品目第一号の導入を決定  
アステラス ファーマ GmbH から抗がん剤を導入

当社は今般、アステラス製薬株式会社（本社：東京）のドイツ子会社であるアステラス ファーマ GmbH（本社：ドイツ・ミュンヘン）より抗がん剤「ベンダムスチン」の日本に於ける独占的開発及び販売に関するライセンス契約を締結しました。

当社は2005年3月25日に設立されて以来、50社近くのバイオベンチャー・製薬企業と導入交渉を進めてきました。その中で35品目についてCDAを結び、さらに8品目に絞り現在交渉中です。このうちのひとつが今回導入することになった「ベンダムスチン」であります。

「ベンダムスチン」はドイツにおいて既に非ホジキンリンパ腫の治療薬として「リボムスチン」の商標で長年にわたり使われております。アステラス ファーマ GmbHは、ドイツにおいてはリボセファーム社と本剤に関する開発・販売委託契約を締結しています。北米においてはセファロン社が、アステラス ファーマ GmbHからライセンス供与を受けて、リツキシマブ無効・再発の低悪性度または形質転換型のB細胞性非ホジキンリンパ腫を対象とした開発を行っており、現在第3相臨床試験段階です。最近、「ベンダムスチン」は従来使われていた他の化学療法薬と比較して副作用が少なく、また、より効果的な抗がん剤であるとの第2相臨床試験の結果が公表されております。

シンバイオ製薬は、日本においてリツキシマブ無効・再発の低悪性度または形質転換型のB細胞性非ホジキンリンパ腫を対象に臨床試験を計画中です。現在、日本における対象患者数は約5,000人です。

シンバイオ製薬は、この他さらに数品目の開発権を取得することを予定しており、そのため現在数社のバイオベンチャーと交渉中で、来年春を目途に開発品目第二号、三号についても締結の交渉をすすめております。

シンバイオ製薬は、特に がん、血液、自己免疫疾患を重点領域として、患者数が少ない疾患のための治療薬の開発において、患者さんの声を真摯に受け止め、満たされない医療ニーズに応えることを事業目的に展開しています。

本契約は、シンバイオ製薬設立後導入する開発品目第一号であり、シンバイオ製薬にとり本格的事業展開の端緒となるものです。

以上

[会社概要]

シンバイオ製薬株式会社

シンバイオ製薬株式会社は、前アムジェン社本社副社長でアムジェン株式会社を創業した前社長の吉田文紀が 2005 年 3 月に設立した医薬品企業です。

経営理念は「共創・共生」（共に創り、共に生きる）で表され、患者さんを中心として医師、科学者、行政、資本提供者を「共創・共生」の経営理念で結び、満たされない医療ニーズに応じてゆくことにより、社会的責任及び経営責任を果たすことを事業目的としております。

アステラス ファーマ GmbH

アステラス ファーマ GmbH は、山之内製薬株式会社と藤沢薬品工業株式会社が、2005 年 4 月に合併したアステラス製薬株式会社の独子会社です。アステラス ファーマ GmbH の重点領域は「移植」「泌尿器」「呼吸器」「皮膚」の 4 つの領域です。アステラス製薬株式会社はすぐれた研究開発力とマーケティング力により、世界医薬品市場でグローバル製薬企業として発展し続けることを目指しています。

[本件に関するお問い合わせ先]

<b>シンバイオ製薬株式会社</b> CFO 兼法務担当 工藤 郁哉	<b>Astellas Pharma GmbH, Munich, Germany</b> Dr G.F. Schneider, Director Licensing & Sales
<b>Tel:</b> +81 (0) 3 5472 1125 <b>E-mail:</b> <a href="mailto:ikudo@symbiosis.co.jp">ikudo@symbiosis.co.jp</a> <b>URL:</b> <a href="http://www.symbiosis.co.jp">http://www.symbiosis.co.jp</a>	<b>Tel:</b> +49 (0) 89 4544 1268